

# 北国人 + 偵察兵 + 追跡者 + 特殊部隊員「ワイルドハント」

## アイドレスデータ

L : 北国人 = {  
t : 名称 = 北国人 (人)  
t : 要点 = 暖かい服装, 白い肌で美しい人材, 白い髪  
t : 周辺環境 = 針葉樹林, 木もないような雪原, 豊かな小麦畑, 豪雪対策された家, 高い山  
t : 評価 = 体格 1, 筋力 0, 耐久力 - 1, 外見 1, 敏捷 0, 器用 0, 感覚 0, 知識 1, 幸運 0  
t : 特殊 = {  
\* 北国人の職業カテゴリ = , , , 基本人アイドレス。  
\* 北国人の生産 = , , , (生産フェイズごとに) 食料 + 1 万 t, 生物資源 - 1 万 t。  
\* 北国人のイベント時食料消費 = , , , (一般行為判定を伴うイベントに参加するごとに) 食料 - 1 万 t。  
}  
t : 次のアイドレス = 犬妖精 (職業), 魔法使い (職業), 歩兵 (職業), パイロット (職業), 整備士 (職業), 国歌 (絶技), アイドレス工場 (施設), 寮 (施設), 食糧生産地 (施設), バトルメード (職業), 高位北国人 (人)  
}

## # 旧記述

/ \* /

L : 偵察兵 = {  
t : 名称 = 偵察兵 (職業)  
t : 要点 = 偵察機器, 野戦服  
t : 周辺環境 = なし  
t : 評価 = 体格 0, 筋力 0, 耐久力 1, 外見 0, 敏捷 1, 器用 0, 感覚 1, 知識 1, 幸運 - 1  
t : 特殊 = {  
\* 偵察兵の職業カテゴリ = , , , 派生職業アイドレス。  
\* 偵察兵の職業カテゴリ = , , , 歩兵系。  
\* 偵察兵の白兵距離戦闘行為 = 白兵距離戦闘行為, 歩兵, 条件発動, なし。  
\* 偵察兵の近距離戦闘行為補正 = 近距離戦闘行為, 歩兵, 任意発動, (近距離での) 攻撃、評価 + 2、燃料 - 1 万 t。  
\* 偵察兵の中距離戦闘行為 = 中距離戦闘行為, 歩兵, 条件発動, なし。  
\* 偵察兵の偵察補正 = , 歩兵, 条件発動, (偵察での) 感覚、評価 + 3、燃料 - 1 万 t。  
}  
t : 次のアイドレス = 吉田遥 (ACE), 特殊部隊員 (職業), 追跡者 (職業)  
}

## # 旧記述

/ \* /

L : 追跡者 = {  
t : 名称 = 追跡者 (職業)  
t : 要点 = 地面に耳をつけて聞く野戦服姿の人物, バンダナ, 銃を預けられている相棒  
t : 周辺環境 = 密林  
t : 評価 = 体格 0, 筋力 0, 耐久力 0, 外見 0, 敏捷 4, 器用 4, 感覚 4, 知識 1, 幸運 0  
t : 特殊 = {  
\* 追跡者の職業カテゴリ = , , , 派生職業アイドレス。  
\* 追跡者の位置づけ = , , , 歩兵系。  
}

- \* 追跡者の白兵距離戦闘行為補正 = 白兵距離戦闘行為, , 条件発動, (白兵距離での) 攻撃、評価 + 3。
  - \* 追跡者の近距離戦闘行為補正 = 近距離戦闘行為, , 条件発動, (射撃戦として近距離での) 攻撃、評価 + 3、燃料 - 1 万 t。
  - \* 追跡者の中距離戦闘行為補正 = 中距離戦闘行為, , 条件発動, (射撃戦として中距離での) 攻撃、評価 + 3、燃料 - 1 万 t。
  - \* 追跡者の追跡行為補正 = 追跡行為, , 条件発動, 追跡、自動成功。
  - \* 追跡者の隠蔽看破補正 = , , 条件発動, (隠蔽を見破る場合の) 全判定、評価 + 4。
  - \* 追跡者の特殊能力 = , , 任意発動, 対象の 1 部隊の移動を阻止できるが、相手の 20% 以上の頭数を持っていないなければならない。この能力は相手の移動時に発動できる。
- t : 次のアドレス = 炎熱編集櫻井 (ACE), 大山警部? (ACE), 警官 (職業)

# 旧記述

/ \* /

- L : 特殊部隊員 = {
  - t : 名称 = 特殊部隊員 (職業)
  - t : 要点 = 迷彩服, ベレー帽
  - t : 周辺環境 = 演習場
- t : 評価 = 体格 2, 筋力 2, 耐久力 2, 外見 - 1, 敏捷 3, 器用 3, 感覚 1, 知識 0, 幸運 - 1
- t : 特殊 = {
  - \* 特殊部隊員の職業カテゴリ = , , 派生職業アドレス。
  - \* 特殊部隊員の位置づけ = , , 歩兵系。
  - \* 特殊部隊員の白兵距離戦闘行為補正 = 白兵距離戦闘行為, , 条件発動, (白兵距離での) { 攻撃, 防御, 移動 }, 評価 + 1。
  - \* 特殊部隊員の近距離戦闘行為補正 = 近距離戦闘行為, , 条件発動, (射撃戦として近距離での) { 攻撃, 防御, 移動 }, 評価 + 1。
  - \* 特殊部隊員の中距離戦闘行為補正 = 中距離戦闘行為, , 条件発動, (射撃戦として中距離での) { 攻撃, 防御, 移動 }, 評価 + 1。
- t : 次のアドレス = 青森恭兵 (ACE), ワンマンアーミー (職業), ガンマン (職業 4)

# 旧記述

評価 = 体格 3, 筋力 2, 耐久力 2, 外見 0, 敏捷 8, 器用 7, 感覚 7, 知識 3, 幸運 - 2

**継承**

北国人の継承を受けています  
必要周辺環境：豪雪対策された家

北国人 + 偵察兵 + 追跡者 + 警官の HQ (感覚) を継承しています。  
根拠



よんた藩国の軍力は、決して大きな物ではない。  
歩兵中心で、火力も低い。警官こそいるものの、その職業柄敵を殺すことが出来ず、戦力としてはい  
ささか頼りない。

そこで、ひとつの計画が持ち上がった。  
「よんた藩国特殊部隊計画【124号計画案】」と称されるこの計画は、いかによんた藩国が現有  
する戦力を有効に活用するか、それが記された計画書であった。

よんた藩国で他国と並ぶうる戦力といえば偵察力である。また、**偵察機器**（1）を背負った偵察兵  
だけでなく、追跡を得意とし、**密林**（2）であろうが雪原であろうが常に敵を補足し続ける追跡者  
も存在する。

その発展形とは何か、その問いに【124号計画案】はこう答えた。  
「特殊部隊である」と。

そして、124号計画案は実行に移された。**バンダナ**（3）がトレードマークのティンダロスの精  
鋭たちを中心として国軍の各部隊から人員を抽出、彼らは**演習場**（4）に放り込まれた。

まずおこなわれた訓練は基礎の徹底である。それまでよんた藩国軍の最高峰、ティンダロスにいた  
隊員たちでさえ偵察術を基礎から教え込まれた。この訓練は演習場に留まらず、国全体を部隊とし  
て行われたため、一時、よんた藩国のあらゆるところで**地面に耳をつけて聞く野戦服姿の人物**

（5）や**銃を預けられている相棒**（6）がみられたという。  
偵察・追跡術の再訓練が終わった隊員たちは二次訓練へと移行した。この段階で最初の候補者の7  
0パーセントが脱落したという。

二次訓練の内容は純粋な戦闘の訓練である。  
とはいえ、一般の部隊で行うものとは量も質も異なった。この部隊に関する記録はいまだ公表され  
ていないが、訓練における弾丸の使用量は他の部隊の500倍に及んだという。

ここでは通常よんた藩国軍が使っている銃器以外にも、鹵獲武器を使用することを想定して他国で使われている武器の扱いや、迫撃砲や無反動砲といった重火器、小型UAVなどの先進機器の使用  
方法の訓練がおこなわれた。

また、同時に優れた偵察・追跡技術を持つ、つまり浸透能力が高いことを生かした戦術の訓練もおこなわれた。高性能爆薬を使った破壊工作や、航空攻撃の誘導訓練である。

そして第三段階。ここまでたどり着けたのは当初の10パーセントの隊員だけだった。彼らはここで、治安維持や殺さずに取り押さえ、法律面の座学などの訓練をつむこととなった。これらは警官との協調を視野に入れたものであり、有事の際の警察機構と軍事機構の役割分担が徹底的に隊員たちに叩き込まれた。

#### 第四段階。

よんた藩国の特徴の一つ、豊かな自然。そこでの訓練である。潜入したゲリラコマンドの対処も特殊部隊の役割であり、ゲリラコマンドが最も潜みやすい地形のひとつが、森林である。

ここでは訓練の場をよんた藩国にとどめず、様々な地形で行った。つまり、守りを考えるだけでなく、「より遠くで敵を撃破する」理念に基づき、他国での作戦を考慮した訓練である。

この訓練により、残った隊員の殆どが脱落。結局最後まで残り、**野戦服**（7）をぬぎすて、特殊部隊員の証である**迷彩服**（8）と**ベレー帽**（9）を得たものは最初の候補者の実に1パーセントに過ぎなかったという。

しかし、本当の試練はここから始まった。

特殊部隊員として一流の兵士として認められた彼らは、新たなる世界を見る事になる。

その世界を、「市街戦」と呼ぶ。

本来、偵察能力の強化のみが目的であった124号計画であるが、様々な戦場に対応するために、改訂され、歩兵が最も生きる戦いのひとつである市街戦の訓練が導入されている。

市街戦の難点とは部屋を一つ一つつぶさなければならず、また近距離での遭遇戦がおきやすいこと、といったものである。

これらに対応するために、特殊部隊員としての訓練では近距離戦に向けた兵器の扱いや、室内戦、狙撃、格闘といったものに重点が置かれた。

また、装備も従来の野戦対応に加え、市街戦に対応したものが整備された。

例えば、以下のようなものである。

#### 1) PDW

5.5ミリ口径の銃。拳銃弾をもちいたSMGより威力があり、防弾ジャケットを貫通しうる。サイレンサーつき。

市街戦における主武装。

#### 2) グレネードランチャー

PDWに付属したもので、40ミリ口径のグレネードを発射する。

スモーク弾と対人弾の二種類の弾薬が有る。また、時限信管で空中で炸裂するように設定でき、最も効果的な高度で爆発させることが出来る。

#### 3) カメラ/ゴーグル

コードでゴーグルとつながれたカメラは、内視鏡のようにコードの先についており、体を晒さずに道を曲がった先を見ることが出来る。

ゴーグルは自己のカメラ画像をみる為だけでなく、他者の物を見ることが出来る。また、暗視能力も備えられている。

#### 4) 閃光手榴弾

室内専用。グレネードをつかうと自分たちにも被害が及びかねないときに用いる。

5) 手鏡  
カメラが使えないときの代用品。

6) コンバットナイフ  
格闘専用。また、音を立てたくないときには銃ではなくこちらが用いられる。

7) 狙撃銃  
7.62mm口径のもの。分隊に一人の割合で装備されており、PDWもちの兵士を支援する。

8) 拳銃  
9mm口径。副武装として用いる。

9) 指向性地雷  
待ち伏せ攻撃用。

これらの装備と野戦用の装備を状況によって使い分けるようになっている。  
また、演習場には **豪雪対策された家** (10) が立ち並ぶ擬似市街(キリングハウス)が建造され、  
兵士達はそこで日夜訓練をつんでいる。

- (1) 偵察兵要点
- (2) 追跡者周辺環境
- (3) 追跡者要点
- (4) 特殊部隊員周辺環境
- (5) 追跡者要点
- (6) 追跡者要点
- (7) 偵察兵要点
- (8) 特殊部隊員要点
- (9) 特殊部隊員要点
- (10) 北国人周辺環境

